

会 議 録

1 会議名

平成30年度 第12回金谷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 第6次行政改革推進計画及び事務事業評価の結果について（公開）

(2) 自主的審議事項「金谷区の観光・イベントについて」（公開）

3 開催日時

平成31年3月27日（水） 午後6時00分から午後7時24分まで

4 開催場所

福祉交流プラザ 第1会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：高宮宏一(会長)、川住健作(副会長)、村田敏昭(副会長)、
石野伸二、牛木喜九、桑山敏男、齋藤邦博、高橋敏光、竹内恵市、
永野起男、西条聖士、山口茂幸
- ・ 行政改革推進課：竹下副課長、小酒井係長
- ・ 事務局：南部まちづくりセンター 佐藤センター長、佐藤係長、小林主任

8 発言の内容

【小林主任】

- ・ 伊崎委員、伊藤委員、土屋委員、吉村委員を除く12人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は高宮会長が務めることを報告

【高宮会長】

- ・ 会議の開会を宣言

・会議録の確認：桑山委員、齋藤委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

資料により説明。

【高宮会長】

事務局の説明について質疑を求めるがなし。

一次第3報告（1）第6次行政改革推進計画及び事務事業評価の結果について—

【高宮会長】

次第3報告（1）「第6次行政改革推進計画及び事務事業評価の結果について」に入る。

行政改革推進課に説明を求める。

【竹下副課長】

市では今年度、第6次総合計画の後期基本計画をはじめとする、主要計画の改定を行った。本日はそのうち、第6次上越市行政改革推進計画と事務事業評価の結果について、概要を説明させてもらう。

資料No.1「第6次上越市行政改革の概要」は、広報上越の3月15日号に合わせて市内に全戸配布した。

資料No.1により説明。

続いて、事務事業評価の結果について説明する。

【小酒井係長】

資料No.2により説明。

【高宮会長】

委員に質疑、意見を求める。

【石野委員】

資料No.1の2ページ目にある人口減少や歳入・歳出の不均衡などは問題点であり、それに対して、例えば今の人口減少を半分にしていくような施策を取っていくとか、

そういう目標や目指す姿が全然見えない。ただ現状を把握しただけで、人口減少や少子化をどうするのかという部分が全然伝わらない。市民の皆さんにも不信感があると思うし、資料No.2の評価結果一覧の中の農業集落排水事業について、使用料改定とあるが、改定ではなくて値上げである。値上げということをちゃんと表さないといけない。今後人口が減ってくるので、下水道は絶対赤字になる。ましてや水道も使用量が落ちてきているのに、公共下水道を整備している。赤字が膨らんでいくのは分かっている。また、第三セクターを見ると、累積赤字があるところは、1年、2年で切らなければいけないような、そういう方向性をどんどん出していくべきではないかと思う。

【竹下副課長】

本来であれば第6次総合計画に掲げる取組、例えば今後の人口減少に向けた対応などもお話しすべきであり、説明が不十分であった。今回報告する行政改革推進計画は、総合計画の下支えとして、行革的視点で取りまとめた計画である。市として、まちづくりの計画をしっかりと説明した上で行革の説明をしないと、意見をいただいたとおり、まちづくりの方向性自体がなかなか見えてこないと思う。その点は次回以降の説明において、まちづくりの方向性といったものをしっかりと説明できるよう別途検討する。

【石野委員】

例をあげれば、新幹線が開通して、その時に村山市長が上越妙高駅周辺半径2キロか3キロで人口3万人を目指すということをやっていたと思うが、それに対しては何も動いていない。農地もどういう方向性で行くのか、どういうまちづくりをするのか、開業して4年も経っているのに、何もそのことが出てこない。上越市が目指す姿というのが何も見えていないので、皆さん非常に不安がっていると思う。

【竹下副課長】

人口減少の取組について説明をすると、例えば小学校就学前児童の医療費の無料化を県内市町村に先駆けて行うなど、総合計画に基づく政策的事業の中で取り組んでいるものもある。その辺の説明が、行政改革の説明では不十分な部分があり、なかなか伝えられない。

【石野委員】

子育てうんぬんといっても、各保育園において定員の確保が100パーセントできず、キャパはあるが入ってくる子どもがいないので、結局職員を減らさなければいけない。そして、人数が定員割れになると補助金額が減額されることになり、経営が成り立たないとか、いろいろな部分があると思う。そういうことを総合的に考えていかないといけない。

【竹下副課長】

ご意見として、担当課へ伝えたい。

【高宮会長】

他に質疑、意見を求めるがなし。

【竹下副課長】

貴重なご意見をいただいた。しっかり対応していきたい。

— 一次第4議題（1）自主的審議事項「金谷区の観光・イベントについて」 —

【高宮会長】

次第4議題（1）「自主的審議事項『金谷区の観光・イベントについて』」に入る。

前回の会議では、今後具体的に何を取り組むかを協議し、取組の案や、それを実施する上での課題などについて意見が出された。

本日は、資料No.3にまとめた取組の案を取り上げるかどうかを順番に協議したい。

まず1番目についてだが、マップの作成を来年度高橋委員の団体で行う予定と聞いている。高橋委員に、どのようなマップを作る予定か、説明を求める。

【高橋委員】

私は金谷地域歴史を守る会の会長をやっている。

例えば、会津の方から来たお客様に説明とか案内とか、そういう観光地を案内する人が、私以外に誰もいなくなってしまって、なかなか運営が難しくなってきたので、先般3月4日の金谷地区の振興協議会の総会で、振興協議会の中に入れてもらうことになった。皆さんに配布した金谷地域歴史観光マップは、三つ折りが3

枚、6ページのものである。これは平成23年に作成し、その後増刷して、その時6,000部作ったが、市の各施設や学校関係、子どもの地域の勉強のために配布したらなくなり、さらに1,000部追加して、それをまた配布している。それなりの効果はあったと思うが、8年経って、この地図の中に、山麓線が通過していないとか、新幹線の駅がないとか、そんなことになっている。新たにリニューアルする際は、紙の質も変えて、もう1ページ増やして、新たに掲載しなければいけない場所を加えて、だいたい8,000部くらい作りたいと思っている。予算としては、まだ見積りなどは出てきていないが、60万円か70万円くらいの間であればよいと思っている。8,000部でも、そんなに高くならずにできると思うので、各施設に配ったり、学校の勉強の資料にしてもらったりして、金谷地区に大勢来てもらいたいという発想でやっている。それから歴史とか文化はたくさんあるが、こういうものに載せておかないと、どこに何があったのかというのが消えてしまう。自分の子どもに話しても、子どもがどこかへ行ってしまっただ元に残っていないと、継承というか、伝わっていかないので、こういうもので残しておけばよいのかなと思っている。この金谷地区の住宅団地に来た人が、金谷地区のことが分からない、そういう若い人たちがたくさんいる。こういうものを全家庭に配れば、「今度新しく引っ越してきたが、金谷地区は素晴らしいな」と感じるような、「金谷地区に来てよかった」と感じてくれればよいと思う。ぜひともこれを平成31年度の地域活動支援事業に提案し、また皆さんの力を借りて、各町内会に配りたい。自力で配ることにはしているので、力を借りないといけないと思う。何とか皆さんの力を借りて、平成31年度の地域活動支援事業で提案を出すので、協力してほしい。それから「私も興味があるから仲間に入れてほしい」と、皆さんの中で、若い方がいれば、ぜひとも仲間に入れてもらいたい。継続性についても、金谷地区振興協議会の中に入れて会長が引き受けてくれると思うし、また駄目なら他の人が引き受けてくれるので、継続性もある。会の信頼性もあると思う。

【高宮会長】

高橋委員の説明について質疑を求める。

【石野委員】

昨年の4月からこの2月までに、正善寺ダムにダムカードを求めて来られた方が450人弱。今日も富山からお子さん連れで、「ちょうど水族館に来たので寄りました」という人がいたが、そういった人プラス小学校の見学、4年生中心だが、金谷区の場合は飯小学校だけ見学に来るのだが、それ以外の大規模校等も来るので、そういう方に冊子を配る。それはダムにお願いすればできる。それも頭に入れておいてもらいたい。

【高橋委員】

例えば市民プラザにだいたい100枚くらい置いて、「もしなくなったら電話ください」と言っておくと、電話が来る。

【石野委員】

金谷区の場合だと、県外者が多く来るのはやはり南葉高原キャンプ場だと思うので、そういうところがあれば、すぐ近くにこういうものがあるのだと分かればよいと思う。

【高橋委員】

もちろん正善寺ダムにも置かせてもらう。ヨーデル金谷とか、公共施設にはだいたい置かせてもらう。

【川住副会長】

今高橋委員からあった話というのは、主に金谷区、それから上越市を中心とした近隣の人たちを対象とした観光だと思う。ある程度、的を絞ってやっていかないと、県外客などは今の段階では難しいのではないかという感じがする。金谷区を中心、山麓線を通して、うみがたりに行く。その帰りにちょっと寄り道して帰ろうかなというような観光。そういうのが必要になってくると思う。

資料No.3の1、2、3、4のうち、今やろうとしているのは1番。2、3、4までやると非常に範囲が広くなりすぎて、収集がつかない状態になると考えられる。差し当たって、今年は1番に絞って、こういうのを具体的に作るということで話をしたらどうかと思う。4番は非常に時間を要する。団体と話し合っとうんぬんというのは、流れの中でやるのはよいが、今年に関しては、これから地域活動支援事業の審査・採択等があるため、とりあえず1番を中心に、具体的にこういったものを、

新しいものを作ってみてはどうかと感じた。

【高宮会長】

ただいまの川住副会長の意見に対し、意見を求める。

【石野委員】

これを作るのに、100パーセント地域活動支援事業を使ってよいのかという部分は、私も何とも言えないが、要は金谷区に限定しているわけではなく、上越市のアピールとして作っているわけだから。それは上越市の観光課などと「半折半でやりませんか」ということがあってもしかりかなと思う。その辺はできるか分からないので、確認を取った方がよいのではないかなと思う。

【川住副会長】

これを市の方と提携して。

【石野委員】

市が印刷してくれるのだったら、市が出してくれればよい。その辺はできるか分からない。

【川住副会長】

そういうのを考えてしまうと、非常に話が難しくなると思う。だからこれはあくまでも地域活動支援事業で扱うという、一本化してやった方が早い。前にも作った実績があるので、その方が話を進めやすいと思う。市と提携うんぬんという、またそこでかなりの時間を要するのではないかなと思う。とにかく何か一つ実績を残すという意味で、観光について、こういったものを一つ作ってみたらという話になった。だから資料No.3に関しては、今の高橋委員からあった話の内容で一本化した方がよいと思う。

【高橋委員】

例えば一か所だけどうしてもPRしたいというのは、パンフレットでよい。パンフレットを作るのは、一か所だから簡単。金谷山のボブスレーや南葉高原キャンプ場だけで宣伝するのならパンフレットでよいが、金谷地区全体の観光とか、歴史、文化とか、広範囲のものになると、このマップのような格好になってしまう。それとデザインも、8年も前のもので、今度は目新しいよい色になると思う。この紙を

気に入っている人もいます。もう1ページ増やすのは、新しい場所が増えたり、強調したいところは大きくしたりと、いろいろ考えている。

【高宮会長】

マップ等の作成については、いろいろ議論してきたことを高橋委員の団体に提案することにし、作成にあたっては地域協議会としても相談があれば協力していきたいと思うが、どうか。1番のマップ作成について、協議会としても取り上げて行くという方向でどうか。

【石野委員】

取り上げるというのは、地域協議会は何をしたらよいのか。作成うんぬんは、金谷地域歴史を守る会が、要は振興協議会の中に組み込まれて、そこでやるので、地域協議会が何かするという事はない。

【高橋委員】

私は、「この中でもし興味がある人がいれば来てください」と言った。金谷区の人なら振興協議会に入れるので。

【高宮会長】

協力とはそういうこと。皆さんから入ってもらおうと。

【川住副会長】

決を採るか。

【石野委員】

これは自主的審議をこの後どうしていくか。今の話では、それ以降地域協議会は何もすることはないので、これで自主的審議事項は終わってしまうような感じになる。それでは挙手も何も無い。自主的審議の項目としてはなくなるという話か。

【佐藤センター長】

今は1番の案を取り上げるかどうかを協議している。今高橋委員からも説明があったが、金谷地域歴史を守る会でパンフレットを作るという話だったので、この1番についてはそちらに任せるといってよいか決を採り、それで皆さんの了解を得れば、1番はそちらに任せるといことになる。

他の2、3、4番については、先ほど川住副会長から「これはしないでも」とい

う意見はあったが、まだ皆さんに聞いていないので、順番に聞いてもらいたい。

【高宮会長】

1 番についてはそういうような形でよいか諮り、委員全員の上承を得る。

2 番目について、意見を求める。

【石野委員】

4 番と 2 番はすごくリンクしているのではないかと。観光に関する団体とイベントの開催はリンクしていると思う。2 番にしても、各種団体からいろいろ集まって聞いても、聞いただけで終わってしまうと思う。それをやるなら、4 番を絡めて、日時を「もっと前からできませんか」という問いかけをやっていくなれば、まだよいと思うが。

【川住副会長】

昨年金谷フェスというのをやったが、残念ながらそれを見に行っていないので、どのくらい盛況だったかというのは把握していない。人伝えに聞いたところによると、かなり集まって賑やかだったよう。また今年もぜひ提案してもらって、見に行く人を増やすような手伝いというか、そのくらいが一番よいのではないかと感じる。

【竹内委員】

これもさっきの 1 番と同じで、昨年やられた方が今年もやると言ってもらえるように持って行って、やってもらうことになれば、何かアドバイスとかそういうものがあればこちらの方で多少はお話ししていく程度。まずこの団体がやってもらえるか確認して、地域活動支援事業でも何でも構わないが、そういうイベントをぜひやってほしいとお話しすれば、何とかやってもらえる可能性はある。

【川住副会長】

金谷フェスの 2 年目に関して、地域活動支援事業の提案は 5 月 7 日締切り。それまでに上がってこなかったら、「今年はどうでしょうか」くらいの打診というか。今のところ、事務局には何も来ていないのか。今年もやるとか、やらないとか。

【小林主任】

申込みの相談については、事務局に特に連絡は来ていない。

【高宮会長】

あることは分かっているだろう。今のように、一つの例だが、手を挙げてきていない団体に、こちらの方から「今年はどうでしょうか」というような声掛けをしていくというのが大切ではないかという意見については、皆さんどうか。

【竹内委員】

地域協議会で何かをやるというのはできないので、やってくれる人たちをまず見つけ出すという意味で話したつもり。このメンバーで何かやろうというわけにはいかないなので、前回の人がやってくれるのならよい。

【桑山委員】

話は違うが、上越市の観光協会というのがあるが、観桜会とかレルヒ祭とかのイベントではよく聞くが、どういった活動をしているのかよく分からない。そういう情報というのはあるか。

【高宮会長】

委員の中で分かる方はいるか。

【桑山委員】

金谷区のイベントなどにはタッチはしていないのか。

【佐藤係長】

上越観光コンベンション協会の話か。

【桑山委員】

そう。

【佐藤係長】

コンベンション協会の下に、例えば板倉観光協会があるというものではない。それぞれの団体が別々に独立して存在しているような形だと思う。

【桑山委員】

そこは市の外郭だから、予算が入ってくるのだろう。

【佐藤係長】

コンベンション協会には、市からの委託により、例えば観桜会等の事業を実施し、市から公費が出ている。確認したわけではないが、区にあるような観光協会はそれ

それぞれ個別にある。例えばコンベンション協会、上越市全体で何かイベントをするといった時に、コンベンション協会が各区の観光協会に「皆さん集まって何かやりましょう」と呼びかけることはあるかもしれないが。そういうような状況ではないかと思う。

【高宮会長】

やってもらえるかどうかを聞くということで、2番も取り上げて行くということでよいか。

【石野委員】

やってくれるかどうかは、誰が確認するのか。

【竹内委員】

それは私が確認しておく。

【石野委員】

それは今のBMXの方。それ以外はどうするのか。

【高宮会長】

それは我々が探さないといけない。私も実際にこういう組織があるというのは分からない。そういうようなことを調べないと、私自身ここで論議するのはなかなか難しい。今竹内委員からは知っている方ということだったが、そういうのを皆さんから、これはどうだ、あれはどうだという形で出してもらえれば、私の方で調べて、それをもとに協議する。

【石野委員】

地域活動支援事業に申し込んでいる活動があると思うが、あれ以外ということか。ないような気がする。

【高宮会長】

我々で調べられるのか。

【川住副会長】

何を調べるのか。

【高宮会長】

そういう団体。

【川住副会長】

それを調べて交流会をやるというのは無理なのではないかとさっき話をした。そういうのではなくて、そういう人たちがやっている事業を支援するというか、毎年やっていることをやってもらって、応援できることがあったら応援するという取組でよいのではないか。こちらでは何もできない。

【石野委員】

集めて話し合う場を設けるとか、そういうことはできるが。

【川住副会長】

1か月に1回しか会議がないのに。

【高宮会長】

地域活動支援事業に提案している団体にアタックするにしても、結構日数がかかる。

【川住副会長】

2番目は取り上げることになったのか。

【佐藤センター長】

まだ決まっていない。

【川住副会長】

さっきの話の中で、もう連絡してもらえろという話が出た。そういう連絡してもらおうという程度でよいのでは。それ以外のことは無理だと思う。

【佐藤センター長】

2番に書いてあるように、例えば各団体から集まってもらおう場を作るというのは、地域協議会ではできると思う。テーマを決めなければいけないが。ただそうした時に、地域協議会としてその団体に、例えば「何かイベントをしてください」とは言えないと思う。それが地域活動支援事業で提案されてきた時に、地域協議会推薦みたいに捉えられてしまうといけない。例えばその団体が全部一緒になって何か金谷区を盛り上げるイベントをしようというのであれば、それは地域活動支援事業としても採択されるべきかと思うが、一つの団体のイベントというと、あまりよくないかと。

【石野委員】

私たちができることは限られている。

【佐藤センター長】

話し合いの場はよいと思う。

【高宮会長】

観光というところの位置付けで捉えるわけだが、なかなか難しい問題だと思う。
地域協議会としては何かできるわけではないが。

【石野委員】

地域協議会でできるとしたら、市に対して、いろいろな活動団体にもっと補助金を出すような意見書は出せるだろうが、それ以外はできない。

【竹内委員】

私は平成30年度、金谷観光協会とホテルの会、どちらも出た。ホテルの会は、金谷山の野鳥について、野鳥の会みたいな方から、「今まで写真を撮っていたが、写真では駄目なので、ビデオに撮りました」と言って、映写会をやられたりして、独自の活動をやっておられた。その後、夜暗くなってから、車に乗ってホテルを見に行くという感じで、いろいろ一生懸命考えてやっていた。

【石野委員】

その前の年に地域活動支援事業で舗装などをした。

【竹内委員】

道路について、2年かけて整備したという話はしていた。ミズバショウが全部イノシシにやられて、何もないという感じになっているので、そんな話もされていた。独自に講師を呼んできて、一生懸命にホテルを中心にしたそういう会を催していた。

個人会員で、無理のかからない活動をやっているようなので、こちらから何か言っても、「今さら何をしてくれるのだ」ということを言われるかと思う。

【石野委員】

向こうは「何かやってくれるのだろうか」と思って来るだろう。

【竹内委員】

私はその二つの会しかよく分からない。

【永野委員】

いくら探して分かってても、そこへ「どうですか」というのは、我々からは言えないと思う。そういう会の方から、地域活動支援事業の提案が来て、初めて私たちは動けるといいうのが大筋だから、なかなかこちらから出て行くということは難しいと思う。

【石野委員】

そうやって話が来れば、「次年度はもっと違う方向でやってください」と言える。

【高宮会長】

2番についてはなかなか難しいということ。

【石野委員】

2、3、4番はそう。

【川住副会長】

上がってきた事業に対して、支援。

【高宮会長】

2番について取り上げるかどうか採決し、反対9人により取り上げないことに決する。

次の3番について委員に意見を求める。

【石野委員】

これも同じ。連動している。

【高宮会長】

3番について取り上げるかどうか採決し、反対9人により取り上げないことに決する。

最後4番目について、委員に意見を求める。

【石野委員】

この重なっているイベントというのは、どんなものがあるのか。

【川住副会長】

いろいろな行事というのは、どこの学校関係でも1年の年間計画はほぼ決まっている。金谷体育協会でもそう。それを変えてしまうと、今度は全部おかしくなっ

しまう。だから、「重なるから変えてください」というのは、主催者に言うのは無理
だと思ふ。

【高橋委員】

これはなかなか難しいと思ふ。例えば、正善寺工房では、たけのこ祭りをやって、
あじさい祭りをやって、みょうが祭りをやって収穫祭と、だいたい日にちが決まっ
ている。

【石野委員】

それが収穫できる時期だから。

【高橋委員】

動かせない。みんな金曜土曜に重なっている。例えば南葉山のキャンプ場の祭り
もだいたい決まっている。そうすると、その日は新幹線の駅で何かイベントをやっ
ているといっても、そちらまですべて調整を取るわけにはいかない。ホテルの会は
夏の6月にやっていて、夜やるものはよいが、昼やるものはなかなか。

【高宮会長】

4番について取り上げるかどうか採決し、全員反対により取り上げないことに決
する。

そうすると、川住副会長から言われたが、1番に集中して、高橋委員の団体に頑
張ってもらいたいと。そのためにはこの委員の中からも、ぜひ会員になってもらい
たいとのことなので、よろしくお願いします。

—次第5 事務連絡—

【高宮会長】

事務局に事務連絡の説明を求める。

【佐藤センター長】

- ・今後の日程

平成31年度第1回地域協議会

4月24日（水）午後6時00分～ 福祉交流プラザ

- ・当日配布資料

三和区地域協議会意見書（写し）

ウィズじょうえつからのおたより

【小林主任】

平成31年度地域活動支援事業募集要項等の全区統一の修正について説明。

- ・募集要項1ページ目下に文言を追加
- ・共通審査の「審査の視点」を追加、修正
- ・その他、軽微な文言修正

【高宮会長】

事務局の説明について、質疑を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課

南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831（直通）

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。